

急性膵炎で当院に入院された患者様の診療情報を用いた

臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者 救急部 助教 柏浦正広

このたび当院では、膵炎の治療を受けられる患者様の診療情報を用いた下記の研究を実施いたします。特に重症急性膵炎の治療を受け、退院された患者様に関しては外来にいらっしゃった際のカルテを閲覧させていただきます。患者様への新たな負担は一切ありません。当院での外来通院をされない場合に限り、通院されている病院に問い合わせをさせて頂いたり、直接患者様もしくはご家族のご自宅や携帯電話等に連絡させて頂くことがございます。本研究への協力を望まれない患者様はその旨を担当医にお伝え頂くか、下記に記載の担当までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

当院で急性膵炎の治療を受けられた患者様が対象です。

2 研究課題名

急性膵炎の前向き多施設観察研究

3 研究実施機関

自治医科大学附属さいたま医療センター（責任者：柏浦正広）、慶應義塾大学病院（責任者：金井隆典）、産業医科大学病院（責任者：真弓俊彦）を含めた約 40 施設です。参加施設の詳細は <http://www.keio-med.jp/gastro/pancreatitis-cohort/post-5.html> をご参照ください。既存情報を扱うのは本研究グループに所属する研究者に限定します。

4 本研究の意義、目的、方法

本研究では、自治医科大学附属さいたま医療センターを含めた多数の共同研究機関で膵炎の治療を受ける症例の臨床情報も用いて短期及び長期の予後や各治療が予後に与える影響を前向きに評価します。慶應義塾大学病院が主たる機関であり、各共同研究機関から匿名化されたデータを集積します。また当院では早期の腸管を用いた栄養療法が予後に与える影響を評価します。研究計画書の詳細は <http://www.keio-med.jp/gastro/pancreatitis-cohort/post-5.html> にある研究計画書をご参照ください。

5 協力をお願いする内容

診療録、検査データ、画像データを閲覧させていただきます。当院以外の病院へ通院される方は同様の内容についてその病院に問い合わせをさせて頂いたり、直接患者様もしくはご家族のご自宅や携帯電話等に連絡させて頂く場合があります。病院からの電話連絡による調査などに伴う費用

は一切発生せず患者様やご家族に負担がかかることは一切ございません。また本研究参加による謝礼はございません。

本研究を装って「調査には調査料が必要となります。」や「情報提供につき〇〇円の情報料を差し上げます。」などと案内された場合は詐欺の可能性がございますので下記お問い合わせまでご連絡下さい。

6 本研究の実施期間

2017年7月10日～2026年12月31日

7 プライバシーの保護について

本研究では患者様の個人情報（お名前、住所、電話番号など）は取り扱いしません。個人情報をすべて削除し、匿名化データとして使用します。多施設研究のため匿名化されたデータを提供しますが、すでに匿名化されている情報ですので、プライバシーは完全に保護されます。そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

お問い合わせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 救急部 柏浦正広（かしうらまさひろ）

自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部 讃井将満（さぬいまさみつ）

TEL: 048-647-2111（内線 5996）

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター 総務課 TEL: 048-648-5225（直通）